



伊藤 明

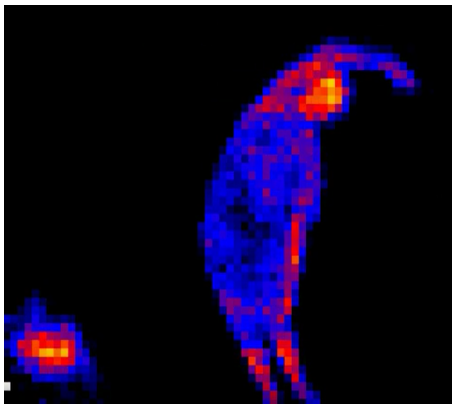
“ヒトの動き”を研究しています。

社会的な活動をする“人”を、自然科学的な立場から“ヒト”として評価する研究をしています。センサやカメラを用いて、ヒト生体の筋肉の収縮や脈拍・呼吸などをとらえることで、将来ヒトに近いロボットや高齢者の介護などに活かせることを目指しています。

所属： 電子情報工学科 職名： 教授 学位： 博士(工学)

Mail: aito@info.suzuka-ct.ac.jp

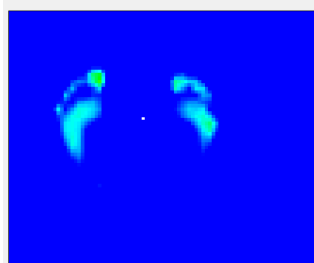
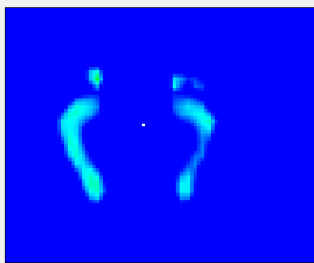
Web: [home page](#) [researchmap](#) [Facebook](#) [Twitter](#) [YouTube](#)



赤外線カメラを用いたヒトの動き

(クリックすると動画が表示.)

赤色が表面温度が高い部分, 半そで半ズボンで撮影. 左下はノートPC.



感圧シートセンサを用いた足底圧力分布

直立時(上), 前かがみ時(下)

研究

- 専門 電子計測, バイオメカニクス, 半導体工学
- 所属学会 計測自動制御学会, 日本機械学会
- 研究 ヒト生体骨格筋の筋肉モデルと粘弾性測定, 画像処理を用いたヒト運動状態の評価
- Key word 骨格筋, 筋肉モデル, シミュレーション, 画像処理
- 実験装置 表面筋電位計測, 感圧シートセンサ, インピーダンスアナライザ
- 論文など [researchmap](#)

教育

- 担当授業 電気電子基礎(2年), 電子工学(3年), 電子材料(5年), 集積回路工学(5年), 電子材料特論(専2年), 電子情報工学実験(3年), 卒業研究(5年), 特別研究I・II(専1, 2年)
- パソコン活用 目的に応じてプログラミング言語を使い分けることは, 今後益々必要だと思います. 卒業研究では, MATLABやSimulinkを利用していますが, 最近ではPythonやSymPyを使ったプログラミング活用しています.